

| | | | | |
|----------------------|---|---|---|----|
| カだめしプリントパート4 中学校三年 ① | 年 | 組 | 番 | 名前 |
|----------------------|---|---|---|----|

1 中学生の森田さんは、本を読んでいて、——線部「金字塔を打ちたたてた」の意味が分からなかったので国語辞典を引いてみました。あとの【国語辞典に載っていた意味】の中から①と②のどちらか一つを選び、その中の言葉を使って「金字塔を打ちたたてた」の意味を書きなさい。

【読んでいた本の一部】

中間子の存在を提唱し、物理学の一角に金字塔を打ちたたてたのは、湯川秀樹ゆかわひできである。彼は、この業績によって、一九四九年に日本人で初めてノーベル賞を受賞した。

【国語辞典に載っていた意味】

きんじどう【金字塔】

- ① 「金」の字に似ているところからピラミッドの別の言い方。
- ② 後世までに伝わるような立派な業績。

答え

【例】後世に伝わるような立派な業績を確立した。

2 村田さんは、連絡板に書いた【A】を、先生の助言をもとに【B】のように直しました。助言の中には、「連絡板全体を使ってバランスよく書くこと」という内容がありました。このほかにどのような助言を受けたと考えられますか。あとの1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

【A】

【B】

連絡板
生徒の皆さんへ
一目最新ニュース
「さくらまつり」に合唱部参加
野球部春季大会準備優勝
生徒会情報
ゴールデンウィーク前の図書貸し出し
〔四月十九日(月)～二十八日(水)〕
あいさつ運動スタート
〔四月十九日(月)～五月十四日(金)〕

連絡板
生徒の皆さんへ
最新ニュース
「さくらまつり」に合唱部参加
野球部春季大会準備優勝
生徒会情報
ゴールデンウィーク前の図書貸し出し
〔四月十九日(月)～二十八日(水)〕
あいさつ運動スタート
〔四月十九日(月)～五月十四日(金)〕

- 1 文字の大きさを同じにして、すべての行と行との間をそろえて書くこと。
- 2 文字の大きさや書き始めの位置を、見出しと内容とで変えて書くこと。
- 3 文字の大きさや書き終わりの位置を、すべての行でそろえて書くこと。
- 4 文字の大きさを変え、見出しの上下に余白を作らないように書くこと。

答え

2

3 次の文の()には、——線部の語句の対義語が入ります。あとの1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

現実には様々な困難があるが、()に向かって努力したい。

- 1 理論
- 2 回想
- 3 目標
- 4 理想

答え

4

4 次は、ある国語辞典の「薄い」という言葉の説明です。この【国語辞典】の説明から分かることを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【国語辞典】

うすい【薄い】「形」①両面の間の幅が小さい。「薄い板」②厚い。③「層がー」の形で、そのような人が少ない。「選手層が薄い」④厚い。⑤色の感じが弱い。「薄い緑」⑥淡い。⑦濃い。深い。⑧味わいが弱い。「塩味が薄い」⑨あっさり。⑩濃い。⑪密度や濃度が小さい。「霧が薄くかかる」「薄いお茶」⑫濃い。⑬影響やかかわりが小さい。「効果が薄い」「なじみが薄い」▼図薄さ。

答え

2

- 1 「選手層が薄い」の反対の意味は、「選手層が濃い」である。
- 2 「薄い緑」は、「淡い緑」とほぼ同じ意味を表す言葉である。
- 3 「菓お味が薄い」は、味わいが強く、しっかりしていることである。
- 4 「なじみが薄い」というのは、よく知っているということである。

5 次のアからウの文では、()の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

- ア 会議で決を(1 執る 2 撮る 3 捕る 4 採る)。

答え(ア)

4

- イ わたしが健康になったのは、(1 ひとえに 2 ほのかに 3 いちずに 4 むやみに) 母のおかげです。

答え(イ)

1

- ウ 兄は困っている人を見るとほうほうっておけない(1 品格 2 資質 3 性分 4 器量)だ。

答え(ウ)

3

6 次は、「平家物語」の【冒頭の部分】とその【現代語訳】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【冒頭の部分】

祇園精舎ぎんしょうじやの鐘かねの聲こゑ、諸行しよぎやうむじやうの響ひびきあり。沙羅さらか双樹そうじゆの花はなの色いろ、盛さかんな者ものも必ず衰しやうえるものであるといふ道理道理を表あらわしている。

【現代語訳】

祇園精舎の鐘の音には、この世のすべては絶えず変化していくものだといふ響きがある。沙羅双樹の花の色は、盛んな者も必ず衰えるものであるといふ道理を表している。

——線部「諸行むじやう」の「むじやう」を漢字で書いたものとして適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 無上 2 無常 3 無状 4 無情

答え

2

——線部「あらはす」の現代仮づかに直し、すべてひらがなで書きなさい。

答え

あらわす

7 山川さんの学級では、文化祭で何を発表するのかを話し合っています。次の話し合いの様子を読んで、あとの問いに答えなさい。



一 山川さんは、提案の中に、テーマとの関係がよく分からないものがあることに気付き、提案者に質問をすることにしました。山川さんがしようとしている質問として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 二班の代表に、織物が輸出されている国々を調べる方法について質問する。
- 2 二班の代表に、私たちの町の名産品にはどのようなものがあるのか質問する。
- 3 三班の代表に、世界の七不思議のなぞを解き明かす方法について質問する。
- 4 三班の代表に、私たちの町と世界の七不思議とのつながりについて質問する。

答え 4

二 各班の提案を聞いていた林さんは、「これからの交流について、S市の中学生と意見交換もしてはどうでしょうか。」という意見を言おうと考えました。その発言は、話し合いの中でどのような役割を果たしますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 一班の提案は実現が困難であることを指摘する役割。
- 2 一班の提案に付け加えて新たな内容を提案する役割。
- 3 一班の提案と他の班の提案との優れた点を比較する役割。
- 4 一班の提案について対立する立場から批判する役割。

答え 2

8 体育委員の松田さんたちは、学級で体力づくりについてのアンケートを行い、体力づくりへの取り組みを学級に提案するにしました。次は、【アンケートの質問と回答の一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「アンケートの質問と回答の一部」

—3年1組 体力づくりについてのアンケート—

〈質問〉
体力づくりについて、あなたが考えていることを書いてください。

〈回答〉

- 中学生の体力が向上してきたという新聞記事を読んで、私たちは体力があるんだと思いました。…………ア
- 体力づくりには、早寝早起きの規則正しい生活と、バランスの取れた食事が大切だと思います。…………イ
- 小学校では、「なわとび週間」があって楽しかった。中学校でも昼休みを使って、何かやったらいいと思う。…………ウ
- 小学生や中学生が、放課後や休日に安心して運動できる場所を、学校以外にもつくってほしい。…………エ
- 体力づくりを一人でするのは難しい。みんなでやった方が楽しいし長続きすると思う。…………オ

一 松田さんたちは、「昼休みに学級全体で運動をすること」を提案する文章を書くことにしました。その提案の根拠にすることができると回答を、【アンケートの質問と回答の一部】のAからオまでの中から二つ選びなさい。

答え オウ

二 アンケートの回答には、様々な意見がありました。その中に、次の□のような意見もありました。松田さんたちは、「昼休みに学級全体で運動をすること」を提案する文章の中で、この意見も取り上げて書こうと思います。松田さんたちがこの意見を取り上げて書こうとした理由として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

今の私たちににとって大切なのは、体力づくりよりも勉強です。もっと勉強に力を入れるべきです。

答え 3

- 1 提案内容と同じ立場の意見であり、多くの人が提案内容と同じ考えをもっていることを強調できるから。
- 2 提案内容と同じ立場の意見であり、提案の根拠となる具体的な事例として適したものであるから。
- 3 提案内容とは異なる立場の意見だが、異なった考えをもつ人にも提案を理解してもらうことが大切だから。
- 4 提案内容とは異なる立場の意見だが、寄せられたすべての回答に等しく触れなければならないから。

| | | | | |
|-----------------------|---|---|---|----|
| カだめしプリント パート4 中学校三年 ③ | 年 | 組 | 番 | 名前 |
|-----------------------|---|---|---|----|

9 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ではみなさんは、そういうふうに川だと言われたり、乳の流れたあとだと言われたりしていたこのぼんやりと白いものがほんとうは何かご承知ですか。」先生は、黒板に吊るした大きな黒い星座の図の、上から下へ白くけぶった銀河帯のようなどを指しながら、みんなに問いをかけました。

カムパネルラが手をあげました。それから四、五人手をあげました。ジョバンニも手をあげようとして、急いでそのままやめました。たしかにあれがみんな星だと、いつか雑誌で読んだのですが、このごろはジョバンニはまるで毎日教室でもねむく、本を読むひまも読む本もないので、なんだかどんなこともよくわからないという気持ちです。ところが先生は早くもそれを見付けたのでした。

「ジョバンニさん。あなたはわかっているのでしょうか。」

ジョバンニは勢いよく立ちあがりましたが、立ってみるともうはつきりとそれを答えることができないのでした。ザネリが前の席からふりかえって、ジョバンニを見てくすくすとわらいました。ジョバンニはもうどきまぎして真っ赤になってしまいました。先生がまた言いました。

「大きな望遠鏡で銀河をよっく調べると銀河は大体何でしょう。」

やっぱり星だとジョバンニは思いましたが、こんどもすぐに答えることができませんでした。

先生はしばらく困ったようでしたが、眼めをカムパネルラの方へ向けて、「ではカムパネルラさん。」と名指しました。するとあんなに元気に手をあげたカムパネルラが、やはりもじもじ立ち上がったままやはり答えができませんでした。

先生は意外なようにしばらくじっとカムパネルラを見ていましたが、急いで「では。よし。」と言いながら、自分で星図を指しました。

「このぼんやりと白い銀河を大きないい望遠鏡で見ますと、もうたくさんの小さな星に見えるのです。ジョバンニさんそうですね。」

ジョバンニは真っ赤になってうなずきました。けれどもいつかジョバンニの眼のなかには涙がいっぱいになりました。そうだ僕は知っていたのだ、勿論カムパネルラも知っていた、それはいつかカムパネルラのお父さんの博士のうちでカムパネルラといっしょに読んだ雑誌のなかにあったのだ。それどこでなくカムパネルラは、その雑誌を読むと、すぐお父さんの書斎から巨きな本をもってきて、ぎんがというところをひろげ、真っ黒なページいっぱい白い点々のある美しい写真を二人でいつまでも見たのでした。それをカムパネルラが忘れるはずもなかったのに、すぐに返事をしなかったのは、このごろぼくが、朝にも午後にも仕事がつらく、学校に出てももうみんなともはきはき遊ばず、カムパネルラともあんまりものを言わないようになったので、カムパネルラがそれを知って気の毒がってわざと返事をしなかったのだ、そう考えるとたまらないほど、じぶんもカムパネルラもあわれなような気がするのです。

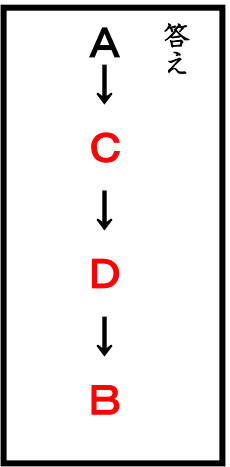
(宮沢賢治「銀河鉄道の夜」による。)

(注1) けぶった＝煙った。ぼうっとかすんで見える。

(注2) それどこでなく＝それどころではなく。

一 次のAからDまでを、文章の展開に沿って順番に並べ替えるなどのようになりますか。Aに続けてB、C、Dを適切に並べ替えて書きなさい。

- A 先生が黒板につるした星座の図の「ぼんやりと白いもの」を指して何かと尋ねた。
- B 先生が星図を指しながら自分で答えを述べた。
- C 先生がジョバンニを指名したが、ジョバンニは答えられなかった。
- D 先生がカムパネルラを指名したが、カムパネルラは答えられなかった。



二 線部「そうだ僕は知っていたのだ、勿論カムパネルラも知っている」とありますが、「僕」と「カムパネルラ」が知っているのはどのようなことですか。次の1から4までのうち、二人が知っていることの説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ジョバンニが真っ赤な顔になってうなずき、今にも泣き出さんばかりになっているということ。
 - 2 ザネリがジョバンニを振り返って笑ったり、先生が困った様子になったりしているということ。
 - 3 黒板につるした大きな黒い星座の図の「ぼんやりと白いもの」が、みんな星であるということ。
 - 4 このごろのジョバンニは、毎日教室でとても眠く、本を読むひまも読む本もないということ。
- 3 答え

三 カムパネルラは、先生の質問に答えませんでした。その理由についてジョバンニは、次のように考えました。□に当てはまる言葉を本文中から**六字**で探し、**抜き出し**なさい。

カムパネルラが先生の質問に答えなかったのは、
 僕のことを **気の毒がって** いるからだ。

10

書店へ職業体験に行った三人の中学生(中川さん・小林さん・山口さん)は、店長さんに本のカードの作成を頼まりました。次は、三人の作った**広告カード**と、三人が店長さんを交えて話をしてしている様子【A】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。



○広告カードの作成を依頼された本

〈中川さんの広告カード〉

ぼくらはいつも迷コンビ?

知性派の創世といわゆるぶつうの中学生内入。二人の冒険はもう上まらない。今度はなぜか謎の洋館へ出陣!

同世代として共感すること間違いなし!

はやみねがかる

都会のトム&ソーヤ④

〈山口さんの広告カード〉

内くん、冒険のはじまりだよ

いつだってこうして創世との冒険がはじまる。創世の頭脳と内人のサバイバル知識があれば向かうところ敵なし!?

中学生コンビが今回挑むのはわけ屋敷。この冒険は見逃せない。

中学生必読!!の一冊です。

都会のトム&ソーヤ④

はやみねがかる

〈小林さんの広告カード〉

はやみねがかるさんの人気シリーズ

都会のトム&ソーヤ④

わが校ははじめての天才といわれる創世と平凡な中学生内入。二人が繰り広げる冒険はかなり変わっている。ふるう後はちびて洋館で肝だめい? あなたのクラスにもこんなコンビいませんか?

〈店長さんが紹介してくれた広告カード〉

大人だって子どもだってこの本読めばトムソーヤ。

創世と内人が繰り広げる冒険はとてユニーク。☆

☆今度は誘拐事件にまき込まれる!?

読めば、子どもは冒険気分。大人は子どものころのワクワクした気持ちがおみがえるはず。

☆すべての人に愛と希望を与えてくれる一冊です。

都会のトム&ソーヤ③

はやみねがかる

○店員さんが同じシリーズの本について作った広告カード

店長さん ①これは、本の題名がすぐに目にとびこんでくる点がいいね。やはり、魅力的な題名の本はよく売れるからね。

②こっこのカードは、コピーにひかれるなあ。五音や七音は日本人の心にしっくりくるリズムなので、印象に残るんだよ。

③このカードは、本文中の強烈な一文を引用してコピーにしたアイデアがいいなあ。本文をちらっと見せるのも、読んでみたい気になせるのに効果的なんだよ。

中川さん ありがとうございます。この五日間の職業体験で、店員さんが作られた魅力的な広告カードをたくさん見ることができたので、とても参考になりました。

小林さん 思った以上に、お客様が広告カードを読まれていたことにも驚きました。そして、そういうお客様は、いろんなカードの前で立ち止まってじっくり読んで、やはりそこで紹介されている本を買っていかれていましたね。

山口さん 店員さんの広告カードは、読者であるお客様と同じ目線で書かれているのがいいですね。

店長さん いいところに気づいたね。そういう意味では、君たちのカードに加えてほしい視点があるんだよ。今回君たちに作成を頼んだ本も、いろんなお客様に読んでもらって、楽しい気分を味わっていただきたいんだ。このカードと君たちのカードを比べてごらん。

(注) コピーし読み手の注意を引く広告文。宣伝文句。

- 一 【A】の中で、店長さんが評価している ①これ ②こっこのカード ③このカードは、それぞれだれの広告カードに当たりますか。次の1から4のうち、広告カードを書いた人の組み合わせとして最も適切なものを一つ選びなさい。
- 1 ①中川さん ②山口さん ③小林さん
- 2 ①中川さん ②小林さん ③山口さん
- 3 ①小林さん ②山口さん ③中川さん
- 4 ①小林さん ②中川さん ③山口さん

答え 4

二 三人の作った広告カードには、「本の題名(書名)」のように共通して書かれている情報がいくつかあります。「本の題名(書名)」以外に共通して書かれている情報を二つ書きなさい。

答え

【例】著者名、登場人物

(本の内容、コピー(宣伝文句)なども可)

三 【A】の中に、このカードと君たちのこのカードと君たちのカードを比べてごらん。とありますが、四人の会話を踏まえ、三人の作った広告カードと店長さんが紹介してくれた広告カードを比較して、その違いを説明しなさい。

答え

【例】三人が作った**広告カード**は、**対象者が中学生であるのに対し、店長さん三が紹介してくれた**広告カード**は、中学生に限らず幅広い年齢層の読者を対象としている。**

参考 〈広告カードが並ぶ書店〉



| | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|
| | い | が | い | が | る | す | |
| | か | 使 | て | が | と | 。 | 私 |
| | ら | う | 、 | な | 、 | な | は |
| | で | 一 | 「 | 人 | 「 | ぜ | 、 |
| | す | 般 | 全 | が | 全 | な | 原 |
| | 。 | 的 | 然 | 七 | 然 | ら | さ |
| | | な | 明 | 八 | 明 | 、 | ん |
| | | 言 | る | ・ | る | グ | の |
| | | い | い | 六 | い | ラ | 考 |
| 100 | | 方 | 」 | パ | 」 | フ | え |
| | | と | は | ー | と | の | に |
| | | は | 、 | セ | 言 | の | 賛 |
| | | 言 | だ | ン | う | 数 | 成 |
| | | え | れ | ト | こ | を | し |
| | | な | も | も | と | 見 | ま |